

おおぶけコミセンだより

2024年7月25日発行

第118号

大更コミュニティセンター

〒028-7111

八幡平市大更 25-510-1

電話 76-4069

FAX 70-1851

大更の夏の風物詩仮装盆踊り大会盛会裏に終了！

7月13日（土）、勇壮な太鼓の響きが大更の夏の夜を揺るがした仮装盆踊り大会。昔から受け継がれてきた盆踊りを老若男女が優雅に踊り続けました。その踊りをそれぞれの団体、個人が趣向を凝らした仮装で演じました。会場内は熱気に包まれ、まさに、大更地区の夏の風物詩と言える光景になりました。

今大会にはオーストラリア出身の八幡平市国際交流員ロックミーガンさんが出場し、地元住民と一緒にになって踊り、国際色豊かな仮装盆踊り大会になりました。

出場された皆さん、そして、声援してくださいました皆さん、大変ありがとうございました。

各部門の入賞者は次のとおりです。（敬称略）

部門	第1位	第2位	第3位
団体の部	むらさき会	大更仲町町内会	縄文家族
仮装の部	3B体操	五百森女性部	
子どもの部	重立美怜	佐々木仁心	重立桃佳
個人の部	大竹友美	外山福子	佐々木淳子
特別賞	森美代子（五百森女性部）夜のかかべ		



仮装して出場された皆さん

平館大泉院に設置されている歌碑



石川啄木の銅像や歌碑は全国に134基設置されていると言われております。その内、北海道には41基、岩手県は64基となっています。八幡平市内にも設置されております。是非、歌碑巡りをお勧めします。

追記

「一楨は平館村に生まれ、長じて曹洞宗の僧となつた。そして、渋民村の宝徳寺の住職を務めたが、宗費滞納の理由で罷免。その後、生活苦の中、一家離散の悲しみを味わうことになる。一楨は啄木の姉夫妻の許に身を寄せ、晩年を過ごし、高知駅近くの鉄道官舎で昭和2年2月20日に76歳の生涯を閉じた。この場所が石川一楨終焉の地とされている。」

7月19日（金）、啄木ソムリエ 山本玲子さんを講師にお招きして、西根平館にゆかりのある石川啄木の父、一楨に光を当てて「風に吹かれる父、立ち向かう啄木」その基礎となつた西根平館」と題してお話をいただきました。

講話要旨

大更ふれあい大学 第3回講座を開催



|